

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年12月10日 (2015.12.10)

【公開番号】特開2014-118402(P2014-118402A)

【公開日】平成26年6月30日 (2014.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2014-034

【出願番号】特願2012-276858(P2012-276858)

【国際特許分類】

C 0 7 K 1/18 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 1/18 Z N A

C 0 7 K 14/47

C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月22日 (2015.10.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

タンパク質をコードするポリヌクレオチドを含む発現ベクターで大腸菌を形質転換して得られる組換え大腸菌の抽出物から、クロマトグラフィーにより前記タンパク質を精製する方法であって、

前記抽出物に第四級アンモニウム塩を添加してから前記クロマトグラフィーによる精製を行ない、かつ前記クロマトグラフィーによる精製が陽イオン交換クロマトグラフィーによる精製を少なくとも含む、前記精製方法。

【請求項 2】

第四級アンモニウム塩が臭化セチルトリメチルアンモニウムである、請求項 1 に記載の精製方法。

【請求項 3】

陽イオン交換クロマトグラフィーによる精製が、カルボキシメチル基を導入した担体を用いた精製である、請求項 1 または 2 のいずれかに記載の精製方法。

【請求項 4】

タンパク質がヒト F c 結合性タンパク質である、請求項 1 から 3 のいずれかに記載の精製方法。

【請求項 5】

ヒト F c 結合性タンパク質が、

(1) 配列番号 1 に記載のアミノ酸配列のうち少なくとも 16 番目のグルタミンから 289 番目のバリンまでのアミノ酸を含むタンパク質、または

(2) 配列番号 1 に記載のアミノ酸配列のうち少なくとも 16 番目のグルタミンから 289 番目のバリンまでのアミノ酸を含み、かつ前記アミノ酸のうちの一つ以上が他のアミノ酸に置換、挿入または欠失したタンパク質である、

請求項 4 に記載の精製方法。